

前回会議の振り返り

【 報告事項 】

- 平成29年9月5日（火）及び10月3日（火）に実施したバス停間移動調査（OD調査）結果を報告。

	総利用者数	バス停間移動内訳		
		駅発着	駅以外のバス停間移動	
			東西間移動	
合 計	1,692人	1,526人 (90.2%)	166人 (9.8%)	17人 (1.0%)
(東西循環)	(621人)	(542人 (87.3%))	(79人 (12.7%))	(17人 (2.7%))

調査結果総括

- 利用者の約9割の人が駅への利用、若しくは駅からの利用となっている。
⇒**駅への速達性が求められている。**
- 市内循環バスの総利用者数のうち、東西移動している人（駅との利用を除く）は1%であり、東西循環ルートに限定しても、東西移動している人は2.7%にとどまっている。
⇒**市内循環バスによる駅の東西を連絡する役割は小さいと考えられる。**

【 協議事項 】

（1）市内循環バス見直しルート（案）について

ルート（案）1，3の提示

※意見交換を行い、以下のとおりの意見が挙がった。

- 路線バスとの競合箇所が少ないのは、ルート案1よりもルート案3の方ではないか。
- 桶川市の循環バスは他市町村に比べて利用率が高く、本当に見直す必要があるのか疑問である。
- 今回の見直しの中で、利用の少ないバス停の廃止等はあるのか。
- 循環バスは市民サービスが目的であり、利用者は少ないバス停、路線を廃止するという考えはやめていただきたい。
- 見直しにより運行サービスが変更する場合には、各地域へ丁寧な説明が必要である。

⇒ いただいた意見を基に引き続き検討する

(2) 市内循環バスの運賃改正（案）について

運賃改正（案）の提示

※意見交換を行い、以下のとおりの意見が挙がった。

- 循環バスは、民間路線バスとのバランスを考慮し、値上げは仕方ないと思う。
- 今回の見直しで運賃を均一制のまま、100円から200円に上げるのは妥当と思う。
- バスやタクシー等の地域公共交通全体を考慮した料金設定が必要。
- 基本料金は300円でもよいのではないか。
- 高齢者などの要支援者をはじめとした、利用者別での料金の見直しも検討する必要があるのではないか。
- 基本料金の値上げには慎重な議論が必要。
- 年々、運行経費が増大傾向にある中で、今後の市の財政負担を考慮すると基本料金の値上げは行った方がよい。
- 運賃は均一制だけでなく従量制も考えてもいいのではないか。
- 路線ごとに同じ運賃である必要はない。



いただいた意見を基に引き続き検討する